

きっと大切な何かがある町
しべちちょう

標茶町

Shibechacho Migrant Guide



移住のご案内



標茶町 <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/>

釧路湿原に抱かれた標茶町で 自分流の生き方をみつけませんか？

自然豊かな道東のまち・標茶町には、多くの人たちが移り住んできています。
今回ご紹介する先輩移住者は、このまちで自分流のライフスタイルを確立した三組のご家族。
これから標茶町への移住を考えている方へ向けた、メッセージをお届けします

●
標茶町

Case 1

鶏と共に歩んで25年。お互いの足りないモノを補い合って、
ここまで続けられました。



義明さんは、2008年に標茶町の魅力を探り伝えていくチーム「グリーン☆ツアーリズム標茶」を立ち上げ、標茶マップの作製を手がけるなど活動の幅を広げています。一方、恵理さんは仲間たちと町のご当地グルメを考案し、その情報を発信し続けています。



ポロニ養鶏場
大木さん ご一家
[1993年移住]

大木義明さん／東京都出身
恵理さん／京都府出身

東京でジュエリー職人として生活していた大木さんが、自然に関わる仕事がしたいという思いで道東へ移り住み、早30年近く。釧路のユースホステルでヘルパーをしたり、隣町の弟子屈町にある農場で3年ほど働いたり。そこで養鶏の経験を積み、独立。標茶町へ来て四半世紀の間、鶏と向き合っています。「自分でも出来そうだったんですよ。牛や豚だと大きすぎるけど、鶏なら何とかできると考えていました。半年もしないうちに、それは大きな勘違いだと気がつくことになるのですが、当初から今日に至るまで試行錯誤の繰り返しです」鶏は欲求が満たされないとお互いを傷つけ合ってしまう。結果、死なせることも多かったとか。「25年やってきて、いまでは仏料理のシェフから声をかけて頂くようになり、卵の評価や満足度も上がってきています。培った経験値で鶏の状態の変化にも気

がつくまでになりました。でも、私は鶏に飼われているんだと感じています。うまくやってくれているのは鶏の方だ」と、大木さんの表情は感慨深げです。

当時は二人の息子さんもまだ小さく、知り合いも少ないまちでの暮らしは苦労の連続でした。「地域の人たちのサポートもあって、これまで続けて来られたと感じています。子育てしながら、6次化への取組も始めたんですよ。卵屋の母さんの手作りおやつとしてシフォンケーキやプリン加工・販売をしています」と、奥様の恵理さんは笑います。ひとりで作っているので今のところ通販やイベントでの販売、予約のみですが、リピーターも増えてきているそう。

「これからは「良い卵」「自慢の卵」をもっと多くの人に食べてもらえるように、さらに販路を拡大していきたいですね」と、前を見据えていました。



子どもの成長を見守ってくれる安心感 本当にこの地に来てよかったと感じます。



高校生になった長男の直哉さんは学校へ行っていたため不在でしたが、5年前に取材した時よりみんなたくましくなっていました。



Pasta&Coffee Prezzemolo
井崎さん 一家
[2006年移住]

井崎雅一さん／千葉県出身
香里さん／兵庫県出身
直哉さん(長男)
蓮さん(次男)
柚花さん(長女)

北海道に魅せられて移住を決めた井崎さん。香里さんとの出会いも、お互いに北海道へ旅行に訪れていた時だそう。「若い頃から、北海道へ移住したいと考えていたんです。以前は千葉でサラリーマンをしていたのですが、一念発起して起業しました。地域の人たちのお世話になりながら、なんとかここまでお店を続けられています」と、雅一さんは話します。「お店をオープンさせた時は、まだ子どもも小さかったんですね。飲食店ですので、お客さんへの対応を優先しなくてはならないのですが、地域の方たちが子どもの面倒をみてくれていたんです。本当に有り難かったです」と、香里さんは振り返ります。「お客さんも地域の人たちも、お店を訪れてくれる度に、子どもたちの成長を感じてくれます。これは頑張らなくて」と覚悟を決めたそう。

標茶町の中でも釧路市寄りの塘路という地域は、生活に必要なものがコンパクトにまとまっていてとても住みやすいエリアだと言います。学校も保育園から中学校まで、みんな一緒。人数も少ないので先生たちもしっかり目をかけてくれるし、なにより近所の人が顔見知りなのが安心です。「ここでは自然との付き合い方が学べますし、シカやキツネ、タンチョウなどの動物は隣人です(笑)。都会では味わえない人生感を培ってくれるまちですよ」

店名のプレッツェモーロとは、イタリア語でパセリのこと。お料理が完成した時、最後に振りかける必要不可欠なテイストという意味が込められています。「喧噪を離れた、夕焼けと星空の美しい塘路で、いままで以上に愛されるお店にしていきたいですね」と、雅一さんの表情が引き締まりました。

標茶町で“ちょっと暮らし、体験”

長期滞在型住宅を貸し出しています。

大きな自然に囲まれ、まちと暮らし、人とつながる。都会では手に入らなかった何かが見つかるはず。標茶町に根を下ろすその前に、ちょっとだけこの町で暮らしてみませんか？標茶町では、トライアルで暮らすことのできる「ちょっと暮らし住宅」を提供しています。

町営住宅をリノベーションした物件です。市街地型、郊外型の2つの環境からお選びいただけます。詳しくは窓口にてお問い合わせください。

物件名	オジロワシ	シマフクロウ
所在地	標茶町旭2丁目11番4-1	標茶町字チャンベツ原野基線13番地16
標茶中心部(役場)からのアクセスと立地	約1km/徒歩で12分 市街地に立地し、徒歩圏内に商店街、温泉施設などがあります。	約6km/車で10分 郊外に立地しているため、都心では決して手に入らない自然環境が大きな魅力です。
延床面積/間取り	44.64㎡(13.5坪)/2LK	71.00㎡(21.5坪)/3LDK
ペット同伴	ペット不可	ペット同伴専用住宅



事業規模も拡大予定 標茶町で描く未来のカタチ。



大宮さん ご一家
[2015年移住]

大宮睦美さん／美瑛町出身
菜々子さん／京都府出身

親方と呼ばれる酪農家の下で約1年間の研修を経て、2017年4月に独立した大宮さん。

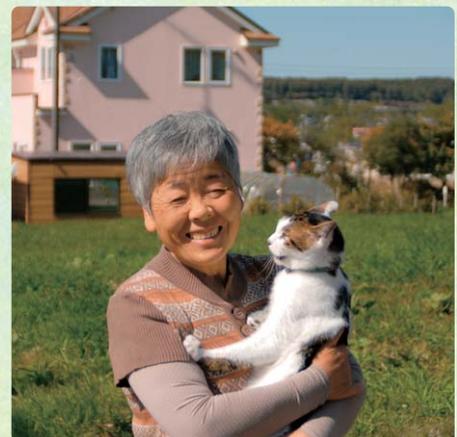
北海道らしい仕事がしたいという思いと、空港が近い場所であること、雪が少ない土地であること、近隣に大きな生活施設が揃っていることという条件を考慮した結果、標茶町に居を構えることに。「標茶町は夏でも涼しく、気温の変化も少ないんです。同世代の酪農家も多く、地域の方たちも面倒見がよくて助かってます」と睦美さん。2019年には新しい牛舎を建てて、牛も100頭くらいま

で拡大する予定と言います。「将来的には従業員を雇用できるような規模で、酪農事業に取り組みたい」と未来のビジョンを描いています。

「標茶町は、買い物にも不便さは感じませんよ。宅配サービスもありますし、中核都市である釧路市まで車で1時間弱の距離です。大きな病院もありますし、暮らすには快適なまちですね」と菜々子さん。「大変な仕事の多くは機械で出来ますし、ヘルパーさんに頼んで休みも取れますよ」と二人の充実した笑顔が弾けました。

夏は標茶町、冬は埼玉県。 6年目を迎えた二地域居住スタイル。

埼玉と標茶の両方での暮らしを始めて6年。標茶での暮らしも、自分のペースで出来るようになったと自信をのぞかせます。「雪のない時期は標茶町で過ごしていましたが、多くのお友達と知り合い、冬の標茶も体験してみようと思っているんですよ」と笑います。標茶町での暮らしをはじめたきっかけは、北海道滞在中に偶然通りかかった時に気に入ったからという小井手さん。「ちょうど移住を考えていた時期で、一目惚れみたいな気持ちで決めました。空港・病院・買い物など必要な施設も近くに揃い、本当に住みやすい」と言います。まちの機能性と自然のバランスがちょうどいいですよと標茶町に魅せられた表情で語ってくれました。



小井手栄子さん(埼玉県出身)

『馬と共に暮らせる町…標茶』に関わる 地域おこし協力隊として標茶町に着任しました。

小浜さん ご一家 [2018年移住]

小浜真人さん / 神奈川県出身
愛さん / 石狩市出身
竜翔くん(長男)
海翔くん(次男)



「馬」を通してまちづくりを手がけたいという強い思いが、標茶町に移住した決め手。道東の大自然に囲まれた生活に憧れている人には、環境が整っているまち。



2017年度から標茶町を中心とした「道東ホースタウンプロジェクト」をスタートさせ、馬を身近に感じながら暮らせるまちづくりを進めている標茶町。2018年8月、このまちに小浜さんご一家が降り立ちました。

生き物に携わる仕事に憧れて道東の動物関連施設で働いていた経験を持ち、北海道で馬に関わる仕事がしたいとの思いが募っていた真人さん。標茶に来る前までは、関東で安定した仕事にも就き、新築も購入したばかりでした。お子さんもまだ小さいという情報もあり、今回の標茶町移住の話がされたときの愛さんの驚きようは想像に難くありません。

しかしながら『馬と共に暮らせる町…標茶』に関わる地域おこし協力隊員募集という、こ

のチャンスに強く惹かれていた真人さんを、最終的に愛さんは受け入れました。「実は私も動物が好きで、関東に住んでいるときには、一頭の馬も家族だったんです。ですので、最後には暮らしていく上で、収入の部分がクリアするならと承しました。それに子育てのことも考えて、子どもが小学校に上がる前の方が都合もよかったというのがありますね。反対しても意志は固いようでしたから……」住む家のことは役場職員が探してくれました。「まちには大きな病院もあり、買い物も子どもの学校のことにも心配していません。まちの人たちも親切ですし。標茶町に、もっと子育てを頑張る人たちが移住してくればいい」と愛さんは感じています。

真人さんは「町内のセントラル牧場で学びながら、1キロほど離れた馬の公園(ホースパーク)の活用に向けて知恵を出していかななくてはならないのですが、楽しみでワクワクしているんですよ」と笑います。「経験を活かして馬を慣らしたり、コースづくりを考えたり。余生を過ごす引退馬を連れてきたいとも思っていますし、道産子の保護や純血の道産子を残したいとも考えています。そして将来は自分の牧場を持ちたいですね」これから始める新しい暮らしに、瞳が輝いているようです。

愛さんも役場で、地域おこし協力隊として観光の仕事を担当することが決まりました。これからの小浜一家の活躍が楽しみになってきました。



お世話になるセントラル牧場の社長さんと



セントラル牧場の馬たちに瞳を輝かせる真人さん



移住するなら、知っておきたい標茶町のあれこれ

標茶町で暮らすとなれば、生活環境は知っておきたい重要な要素。
釧路市から車で約1時間のこの町には、
医療・暮らし・仕事・遊びの環境が揃います。



医療

充実の医療施設で毎日の暮らしも安心。

[病院]

- 標茶町立病院
 - 診療科
 - ・内科
 - ・外科
 - ・小児科
 - ・産婦人科
 - ・リハビリテーション科
- 歯科診療所：町内3カ所



[介護サービス]

- グループホーム：町内2カ所
- 訪問介護：町内3カ所
- 通所介護：町内3カ所
- 特別養護老人ホーム：町内1カ所
- 訪問看護：町内1カ所
- 訪問リハビリ：町内1カ所

[動物病院]

- 標茶キロロどうぶつ病院

教育

この町で暮らすとなると、気になるのは子どもの事。保育所から高校まで教育環境も充実しています。

[幼稚園・保育所]

- 町立幼稚園：町内1カ所
- 町立常設保育所：町内5カ所
- 町立へき地保育所：町内2カ所

標茶町では、本町に出生届の提出があった赤ちゃんの保護者を対象に、粉ミルクなどの商品と交換できる子育て応援チケット「みるくくっく券(5万円分/人)」を交付しています。また子どもの医療費を実質無償化するなど子育てを支援しています。

[小・中学校]

- 町立小学校：町内6カ所
- 町立中学校：町内4カ所



[高校]

- 北海道標茶高等学校
- 総面積252haの日本一敷地面積が広い高等学校。総合学科を採用。



[博物館]

- 標茶町博物館 ニタイ・ト
- 2018年7月にオープンした標茶町の自然と歴史を学べる博物館。森の緑と美しい塘路湖、野鳥や動植物を身近に感じられます。



暮らす

毎日の生活環境は便利で快適に。広大な標茶町でも快適な環境が整っています。

[スーパー・食料品店]

- エーコープしべちゃ店
 - フクハラ標茶店
- ほか地元スーパー

[薬局・ホームセンター]

- サッポロドラッグストア
- 千葉一心堂
- ホーマック ニコット標茶店
- リビングホームONO
- ジョイフルドゥ
- ◎みうら ほか

[コンビニエンスストアほか]

- セブン-イレブン
- セイコーマート
- ローソン
- パン店、豆腐店、精肉店、家具店、書店など

[交通アクセス]

- JR北海道釧網本線：駅町内4カ所
- 路線バス：民間2路線、町営バス
- 空港：女満別、釧路、中標津

働く

移住後の暮らしで重要な仕事についてもバックアップ。
安心な標茶町生活を支援します。

- ハローワーク釧路管轄での職業斡旋
- 起業支援(GOGOチャレンジショップ支援事業補助金)^{※1}
- 新規就農支援^{※2}

^{※1} 支援条件など詳しくはお問い合わせください

^{※2} 詳しくは標茶町ホームページをご覧ください。標茶町役場にお問い合わせください。

遊ぶ

広大な北海道の自然を相手に遊ぶ。標茶町暮らしの醍醐味をどうぞ。

- カヌー：全国のカヌーイストのあこがれの聖地「釧路川」
- 登山：摩周岳に連なる「西別岳」。高山植物の宝庫です
- キャンプ場
- 乗馬
- 温泉



標茶町概要

位置	北緯43度18分04秒・東経144度36分17秒
総面積	1,099.37km ²
人口	7,655人(男3,684人/女3,971人) ※平成30年9月末現在
世帯数	3,675戸 ※平成30年9月末現在
気候	周囲四方を山に囲まれた盆地で夏と冬の寒暖差が激しく、夏は最高気温が30℃に達する時期もある。太平洋側気候のため積雪量は少ない。
基幹産業	酪農業
アクセス	たんちよう釧路空港から車で約90分。釧路市から車で約60分。

お問い合わせ

移住相談ワンストップ窓口 標茶町企画財政課地域振興係

[標茶町役場] 〒088-2312 北海道川上郡標茶町川上4丁目2番地
www.town.shibecha.hokkaido.jp/yakuba

TEL 015-485-2111 (内線223)

FAX 015-485-4111

e-mail k_chiiki@town.shibecha.lg.jp